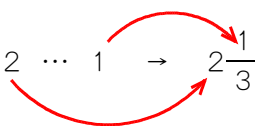


演習問題集 4年上第7回・くわしい解説

- ※ $1\text{ km} = 1000\text{ m}$, $1\text{ m} = 100\text{ cm}$, $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$
- ※ $1\text{ kg} = 1000\text{ g}$, $1\text{ g} = 1000\text{ mg}$
- ※ $1\text{ L} = 10\text{ dL}$, $1\text{ L} = 1000\text{ mL}$, $1\text{ dL} = 100\text{ mL}$
- ※ $1\text{ 日} = 24\text{ 時間}$, $1\text{ 時間} = 60\text{ 分}$, $1\text{ 分} = 60\text{ 秒}$
- ※ 例 $\frac{2}{3}\text{ 時間} = 1\text{ 時間の}\frac{2}{3}$
- ※ 仮分数 → 帯分数 $\frac{7}{3}$ ならば, $7 \div 3 = 2 \cdots 1 \rightarrow 2\frac{1}{3}$ 
- ※ 帯分数 → 仮分数 $2\frac{1}{3}$ ならば, $3 \times 2 + 1 = 7 \rightarrow \frac{7}{3}$

目次

反復問題(基本)	1	…p.2
反復問題(基本)	2	…p.6
反復問題(基本)	3	…p.7
反復問題(基本)	4	…p.8
反復問題(練習)	1	…p.9
反復問題(練習)	2	…p.10
反復問題(練習)	3	…p.11
反復問題(練習)	4	…p.12
反復問題(練習)	5	…p.13
トレーニング①		…p.14
トレーニング②		…p.15
トレーニング③		…p.16
トレーニング④		…p.17
実戦演習①		…p.18
実戦演習②		…p.19
実戦演習③		…p.20
実戦演習④		…p.21

すぐる学習会

<http://www.suguru.jp>

反復問題(基本) 1 (1)

- ① dL となっていますから、dL の単位で答えを求めることになります。
1 L = 10 dL ですから、6 L は 10 dL です。
よってこの問題は、「60 dL の $\frac{1}{4}$ は何 dL ですか」という問題になります。
 $\frac{1}{4}$ というのは、4 つに分けたうちの 1 つぶん、という意味です。
したがって、60 dL を 4 つに分けたうちの、1 つぶんを求める問題になります。
60 dL を 4 つに分けると、 $60 \div 4 = 15$ (dL) ですから、答えは **15** dL です。

- ② g となっていますから、g の単位で答えを求めることになります。
1 kg = 1000 g ですから、3 kg は 3000 g です。
よって、「3000 g の $\frac{5}{6}$ は何 g ですか」という問題になります。
 $\frac{5}{6}$ というのは、6 つに分けたうちの 5 つぶん、という意味です。
したがって、3000 g を 6 つに分けたうちの、5 つぶんを求める問題になります。
3000 g を 6 つに分けると、 $3000 \div 6 = 500$ (g) で、それが 5 つぶんあるのですから、答えは $500 \times 5 = \mathbf{2500}$ (g) です。

反復問題(基本) 1 (2)

- ① $\frac{1}{5}$ kmのような、「単位つき分数」は、すべて、次のように考えます。

$\frac{1}{5}$ kmとは、1 kmの $\frac{1}{5}$ のことです。

1 km = 1000 mですから、1000 mを5つに分けたうちの1つぶんを求めることになります。

よって、 $1000 \div 5 = 200$ (m) になります。

- ② $\frac{7}{12}$ 時間のような、「単位つき分数」は、すべて、次のように考えます。

$\frac{7}{12}$ 時間とは、1時間の $\frac{7}{12}$ のことです。

1時間 = 60分ですから、60分を12個に分けたうちの7個ぶんを求めることになります。

よって、 $60 \div 12 = 5$ $5 \times 7 = 35$ (分) になります。

反復問題(基本) 1 (3)

① $\frac{7}{2}$ ならば, $7 \div 2 = 3 \cdots 1 \rightarrow 3\frac{1}{2}$ よって, 答えは $3\frac{1}{2}$ です。

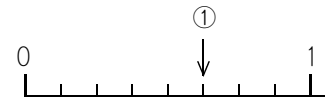
② $\frac{12}{5}$ ならば, $12 \div 5 = 2 \cdots 2 \rightarrow 2\frac{2}{5}$ よって, 答えは $2\frac{2}{5}$ です。

③ 分子は $6 \times 1 + 1 = 7$ で, 分母は変わらないので, $\frac{7}{6}$ です。

④ 分子は $8 \times 3 + 5 = 29$ で, 分母は変わらないので, $\frac{29}{8}$ です。

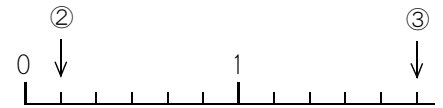
反復問題(基本) 1 (4)

右の図は、0から1までを8個に分けていますから、
1目もりは $\frac{1}{8}$ です。



①は、5目もりのところですから、 $\frac{1}{8}$ が5個集まった
数なので、 $\frac{5}{8}$ になります。

右の図は、0から1までを6個に分けていますから、
1目もりは $\frac{1}{6}$ です。

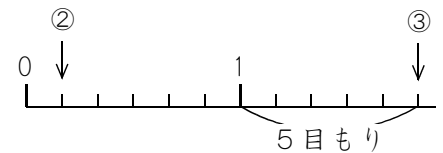


②は、1目もりのところですから、 $\frac{1}{6}$ です。

③は、1から5目もりのところです。

5目もりは $\frac{5}{6}$ ですが、1と、あと $\frac{5}{6}$ なので、

答えは $1\frac{5}{6}$ になります。



反復問題(基本) 2

$$(1) \frac{4}{11} + \frac{3}{11} = \frac{7}{11}$$

$$(2) \frac{8}{9} + \frac{5}{9} = \frac{13}{9} \quad \frac{13}{9} \text{ ですから, } 13 \div 9 = 1 \dots 4 \rightarrow 1\frac{4}{9} \text{ 答えは, } 1\frac{4}{9} \text{ です。}$$

$$(3) 2\frac{6}{7} + 9\frac{5}{7} = 11\frac{11}{7}$$

$\frac{11}{7}$ は, $11 \div 7 = 1 \dots 4$ ですから, $1\frac{4}{7}$ です。

よって, $11\frac{11}{7}$ は, $11 + 1 = 12$ ですから, $12\frac{4}{7}$ です。

$$(4) 3\frac{2}{5} + 2\frac{3}{5} = 5\frac{5}{5} \quad \frac{5}{5} = 1 \text{ ですから, } 5 + 1 = 6 \text{ になります。}$$

反復問題(基本) 3

$$(1) \quad \frac{4}{7} - \frac{2}{7} = \frac{2}{7}$$

$$(2) \quad 2 - 1 = 1, \quad \frac{3}{5} - \frac{1}{5} = \frac{2}{5} \quad \text{ですから,} \quad 2\frac{3}{5} - 1\frac{1}{5} = 1\frac{2}{5}$$

(3) $\frac{2}{9}$ から $\frac{4}{9}$ は引けないので, $7\frac{2}{9}$ の7から $1 = \frac{9}{9}$ を借りてきて, $6\frac{11}{9}$ にします。

$$7\frac{2}{9} - 4\frac{4}{9} = 6\frac{11}{9} - 4\frac{4}{9} = 2\frac{7}{9}$$

(4) このような、「整数-分数」という問題はまちがしやすいので注意しましょう。

5 というのは, $5\frac{0}{3}$ のことです。 $\frac{0}{3}$ から $\frac{1}{3}$ は引けないので, $5\frac{0}{3}$ の5から

$1 = \frac{3}{3}$ を借りてきて, $4\frac{3}{3}$ にします。

$$5 - 2\frac{1}{3} = 5\frac{0}{3} - 2\frac{1}{3} = 4\frac{3}{3} - 2\frac{1}{3} = 2\frac{2}{3}$$

反復問題(基本) 4

- (1) お兄さんの体重の $\frac{8}{9}$ が、だいち君の体重です。

お兄さんの体重を9つに分けたうちの8つぶんが、だいち君の体重になります。
お兄さんの体重は54kgですから、
 $54 \div 9 = 6$ $6 \times 8 = 48$ (kg)

- (2) 135ページある本の $\frac{2}{3}$ を読みました。

読んだのは、135ページを3つに分けたうちの2つぶんです。
 $135 \div 3 = 45$ $45 \times 2 = 90$ (ページ) が、読んだページ数です。

- (3) まず、単位をcmに直してから計算しましょう。

1 mは100cmです。

ですから、mの単位だったら、100倍すれば、cmの単位になります。

100倍するということは、小数点を2個右にずらす、ということです。

1.2 mは、120cmになります。

また、 $\frac{4}{5}$ mというのは、1 mの $\frac{4}{5}$ ということです。

1 mは100cmですから、100cmを5つに分けたうちの4つぶんということです。

$$100 \div 5 = 20 \qquad 20 \times 4 = 80$$

よって、 $\frac{4}{5}$ mというのは、80cmのことです。

これで、1.2 mは120cmになり、 $\frac{4}{5}$ mは80cmになりました。

120cmのテープから80cmを使ったので、残りは $120 - 80 = 40$ (cm) になります。

- (4) $1\frac{5}{6}$ 時間というのは、1時間と、1時間の $\frac{5}{6}$ ということです。

1時間は60分ですから、60分を6つに分けたうちの5つぶん、ということです。

$$60 \div 6 = 10 \qquad 10 \times 5 = 50$$

よって、 $1\frac{5}{6}$ 時間というのは、1時間50分のことです。

4時40分から1時間50分勉強したのですから、

$$4時40分 + 1時間50分 = 5時90分$$

1時間は60分ですから、 $90 - 60 = 30$ により、90分というのは1時間30分のことです。

よって、5時90分 = **6時30分** になります。

反復問題(練習) 1

(1) ひかる君が買った本は、持っているお金の $\frac{3}{7}$ でした。

持っているお金は1400円ですから、1400円の $\frac{3}{7}$ で本を買いました。

1400円の $\frac{3}{7}$ というのは、1400円を7つに分けたうちの3つぶんです。

$$1400 \div 7 = 200 \qquad 200 \times 3 = 600$$

よって、本のねだんは**600**円になります。

(2) ひかる君は、1400円持って買い物に出かけて、(1)で求めたように、600円の本を買いました。

残っているお金は、 $1400 - 600 = 800$ (円) です。

その後、持っているお金の $\frac{3}{10}$ でソフトクリームを買いました。

800円の $\frac{3}{10}$ でソフトクリームを買ったのですから、ソフトクリームの値段は、800円を10個に分けたうちの3個ぶんです。

$$800 \div 10 = 80 \qquad 80 \times 3 = 240$$

よって、ソフトクリームのねだんは**240**円です。

反復問題(練習) 2

(1) 1 mは100 cmです。

ですから、mの単位だったら、100倍すれば、cmの単位になります。

100倍するということは、小数点を2個右にずらす、ということです。

1.8 mは、180 cmになります。

しほさんは、リボン全体の長さの $\frac{1}{3}$ を使いました。

リボン全体の長さは180 cmですから、180 cmを3つに分けたうちの1つぶんを使ったことになります。

$$180 \div 3 = 60$$

よって、しほさんが使ったリボンの長さは60 cmになります。

(2) みさきさんが使ったリボンの長さは、 $\frac{3}{4}$ mです。

$\frac{3}{4}$ mというのは、1 mの $\frac{3}{4}$ という意味です。

1 mは100 cmですから、100 cmを4つに分けたうちの3つぶんを使ったことになります。

$$100 \div 4 = 25 \qquad 25 \times 3 = 75$$

よって、みさきさんが使ったリボンの長さは75 cmです。

はじめに180 cmあって、(1)でわかったようにしほさんは60 cmを使い、みさきさんは75 cmを使ったのですから、残った長さは、

$$180 - (60 + 75) = 45 \text{ (cm) になります。}$$

反復問題(練習) 3 (1)

$\frac{3}{4}$ 時間というのは、1時間の $\frac{3}{4}$ ということです。

1時間は60分ですから、60分を4つに分けたうちの3つぶん、ということです。

$$60 \div 4 = 15 \quad 15 \times 3 = 45$$

よって、 $1\frac{3}{4}$ 時間というのは、1時間45分のことです。

また、 $\frac{5}{6}$ 時間というのは、1時間の $\frac{5}{6}$ ということです。

1時間は60分ですから、60分を6個に分けたうちの5個ぶん、ということです。

$$60 \div 6 = 10 \quad 10 \times 5 = 50$$

よって、 $\frac{5}{6}$ 時間というのは、50分のことです。

ひろし君は、算数を $1\frac{3}{4}$ 時間 = 1時間45分、国語を $\frac{5}{6}$ 時間 = 50分したのですか

ら、合計は 1時間45分 + 50分 = 1時間95分

1時間は60分ですから、 $95 - 60 = 35$ により、95分というのは1時間35分のことです。

よって、1時間95分 = **2時間35分** になります。

反復問題(練習) 3 (2)

問題文に注意しましょう。ひろし君は、理科の学習を $\frac{4}{5}$ 時間したのではなく、

理科の学習を、算数の学習時間の $\frac{4}{5}$ だけした

 のです。

(1)で求めた通り、ひろし君は算数を1時間45分しました。

1時間は60分なので、1時間45分は $60 + 45 = 105$ (分) です。

よって、ひろし君は理科の学習を、105分の $\frac{4}{5}$ だけしたことになります。

105分の $\frac{4}{5}$ は、105分を5つに分けたうちの4つぶんですから、

$$105 \div 5 = 21 \quad 21 \times 4 = 84$$

よって、ひろし君の理科の学習時間は、84分 = **1時間24分** です。

反復問題(練習) 4 (1)

本当は … ある数 + $2\frac{5}{11}$

まちがって… ある数 - $2\frac{5}{11} = 3\frac{7}{11}$

よって、ある数は、 $3\frac{7}{11} + 2\frac{5}{11} = 5\frac{12}{11}$

$12 \div 11 = 1$ あまり 1 ですから、 $\frac{12}{11}$ は $1\frac{1}{11}$ です。

よって、 $5\frac{12}{11}$ は、 $6\frac{1}{11}$ のことです。

したがって、ある数は $6\frac{1}{11}$ になります。

反復問題(練習) 4 (2)

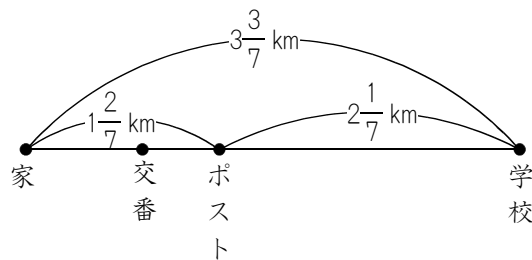
本当は、ある数 + $2\frac{5}{11}$ の計算をしたかったのです。

ある数というのは、(1)で求めた通り $6\frac{1}{11}$ です。

よって、本当の答えは、 $6\frac{1}{11} + 2\frac{5}{11} = 8\frac{6}{11}$ になります。

反復問題(練習) 5 (1)

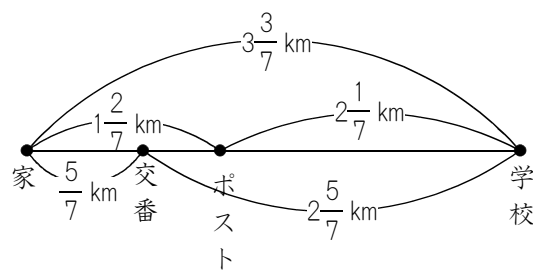
あきと君の家からポストまでは $1\frac{2}{7}$ km, ポストから学校までは $2\frac{1}{7}$ km ですから,
あきと君の家から学校までは, $1\frac{2}{7} + 2\frac{1}{7} = 3\frac{3}{7}$ (km) になります。



反復問題(練習) 5 (2)

(1)で, あきと君の家から学校までは $3\frac{3}{7}$ km であることがわかりました。

交番から学校までが $2\frac{5}{7}$ km だとすると, あきと君の家から交番までは,
 $3\frac{3}{7} - 2\frac{5}{7} = 2\frac{10}{7} - 2\frac{5}{7} = \frac{5}{7}$ (km) になります。



ポストから交番までは, $1\frac{2}{7} - \frac{5}{7} = \frac{9}{7} - \frac{5}{7} = \frac{4}{7}$ (km) です。

あきと君の家から交番までは $\frac{5}{7}$ km, ポストから交番までは $\frac{4}{7}$ km ですから, 道のりの
差は, $\frac{5}{7} - \frac{4}{7} = \frac{1}{7}$ (km) になります。

トレーニング①

- (1) 1 kmの $\frac{7}{10} = 1000$ mの $\frac{7}{10} = 1000$ mを10個に分けたうちの7個ぶんです。

$$1000 \div 10 = 100 \qquad 100 \times 7 = 700 \text{ (m)}$$

- (2) 3 Lの $\frac{5}{6} = 30$ dLの $\frac{5}{6} = 30$ dLを6個に分けたうちの5個ぶんです。

$$30 \div 6 = 5 \qquad 5 \times 5 = 25 \text{ (m)}$$

- (3) 4 mの $\frac{7}{8} = 400$ cmの $\frac{7}{8} = 400$ cmを8個に分けたうちの7個ぶんです。

$$400 \div 8 = 50 \qquad 50 \times 7 = 350 \text{ (cm)}$$

- (4) 6 kgの $\frac{3}{4} = 6000$ gの $\frac{3}{4} = 6000$ gを4個に分けたうちの3個ぶんです。

$$6000 \div 4 = 1500 \qquad 1500 \times 3 = 4500 \text{ (g)}$$

- (5) 1時間は60分ですから、2時間は $60 \times 2 = 120$ (分)です。

2時間の $\frac{2}{3} = 120$ 分の $\frac{2}{3} = 120$ 分を3個に分けたうちの2個ぶん

$$120 \div 3 = 40 \qquad (40 \times 2) \text{ 分} = 80 \text{ 分} = 1 \text{ 時間 } 20 \text{ 分}$$

トレーニング②

$$(1) \frac{7}{20} \text{ km} = 1 \text{ km} \text{ の } \frac{7}{20} = 1000 \text{ m} \text{ の } \frac{7}{20}$$

$$1000 \div 20 = 50 \qquad 50 \times 7 = \mathbf{350} \text{ (m)}$$

$$(2) \frac{4}{5} \text{ L} = 1 \text{ L} \text{ の } \frac{4}{5} = 10 \text{ dL} \text{ の } \frac{4}{5}$$

$$10 \div 5 = 2 \qquad 2 \times 4 = \mathbf{8} \text{ (dL)}$$

$$(3) \frac{5}{8} \text{ kg} = 1 \text{ kg} \text{ の } \frac{5}{8} = 1000 \text{ g} \text{ の } \frac{5}{8}$$

$$1000 \div 8 = 125 \qquad 125 \times 5 = \mathbf{625} \text{ (g)}$$

$$(4) \frac{14}{15} \text{ 時間} = 1 \text{ 時間の } \frac{14}{15} = 60 \text{ 分の } \frac{14}{15}$$

$$60 \div 15 = 4 \qquad 4 \times 14 = \mathbf{56} \text{ (分)}$$

$$(5) \frac{41}{12} \text{ 時間} = 1 \text{ 時間の } \frac{41}{12} = 60 \text{ 分の } \frac{41}{12}$$

$$60 \div 12 = 5 \qquad 5 \times 41 = 205 \text{ (分)}$$

1時間は60分ですから、 $205 \div 60 = 3$ あまり 25

よって、**3時間25分**になります。

トレーニング③

$$(1) \quad 1\frac{2}{5} + 4\frac{1}{5} = 5\frac{3}{5}$$

$$(2) \quad 3\frac{10}{13} + 4\frac{9}{13} = 7\frac{19}{13} = 8\frac{6}{13}$$

$$(3) \quad 2\frac{2}{7} + \frac{5}{7} = 2\frac{7}{7} = 3$$

$$(4) \quad \frac{11}{15} - \frac{4}{15} = \frac{7}{15}$$

$$(5) \quad 3\frac{2}{17} - 1\frac{5}{17} = 2\frac{19}{17} - 1\frac{5}{17} = 1\frac{14}{17}$$

$$(6) \quad 4 - 1\frac{5}{6} = 3\frac{6}{6} - 1\frac{5}{6} = 2\frac{1}{6}$$

トレーニング④

(1) 読んだのは、210ページの $\frac{5}{7}$ です。

210ページを、7個に分けたうちの5個ぶんを読んだわけです。

$$210 \div 7 = 30 \quad 30 \times 5 = 150$$

150ページを読んだことがわかりました。

210ページのうち、150ページを読んだのですから、残っているのは、

$$210 - 150 = 60 \text{ (ページ) です。}$$

別解 210ページの、7個に分けたうちの5個ぶんを読んだのですから、残っているのは、7個に分けたうちの2個ぶんです。

$$210 \div 7 = 30 \quad 30 \times 2 = 60 \text{ (ページ) が残っています。}$$

$$(2) \quad 4\frac{2}{9} - 1\frac{7}{9} = 3\frac{1}{9} - 1\frac{7}{9} = 2\frac{4}{9} \text{ (L)}$$

(3) $\frac{3}{5}$ 時間 = 1時間の $\frac{3}{5}$ = 60分の $\frac{3}{5}$ = 60分を5個に分けたうちの3個ぶん

$$60 \div 5 = 12 \quad 12 \times 3 = 36$$

よって、計算練習を36分間したことになります。

午後5時45分に始めたのですから、終わったのは、

$$\text{午後5時45分} + 36\text{分間} = \text{午後5時81分} = \text{午後6時21分}$$

(4) はじめに、4m = 400cmありました。

まず、400cmの $\frac{3}{8}$ を使いました。

$$400 \div 8 = 50 \quad 50 \times 3 = 150$$

よって、まず150cmを使ったことになります。

残ったのは、 $400 - 150 = 250$ (cm) です。

さらに、残ったテープから $\frac{4}{5}$ mを使いました。

(残ったテープの $\frac{4}{5}$ を使ったわけではないことに注意しましょう。)

$$\frac{4}{5}\text{m} = 1\text{mの}\frac{4}{5} = 100\text{cmの}\frac{4}{5} = (100 \div 5 \times 4)\text{cm} = 80\text{cm}$$

250cm残っていて、80cmを使ったのですから、最後に残ったのは、 $250 - 80 = 170$ (cm) です。

実戦演習①

$$(1) \frac{1}{2} \text{時間} = 1 \text{時間の} \frac{1}{2} = 60 \text{分の} \frac{1}{2} = (60 \div 2) \text{分} = 30 \text{分}$$

よって、算数と国語の学習時間の合計は、 $1\frac{1}{2}$ 時間 = 1時間30分 = 90分です。

$$(2) \text{算数の学習時間は全体の} \frac{3}{5} \text{です。}$$

全体は、(1)で求めたように90分です。

よって、算数の学習時間は、90分の $\frac{3}{5}$ です。

$$90 \text{分の} \frac{3}{5} = 90 \text{分を} 5 \text{個に分けたうちの} 3 \text{個} = (90 \div 5 \times 3) \text{分} = 54 \text{分}$$

算数は、54分学習したことになります。

90分の学習時間のうち、算数は54分学習したのですから、国語の学習時間は、 $90 - 54 = 36$ (分) です。

別解 算数の学習時間は全体の $\frac{3}{5}$ ですから、全体を5個に分けたうちの3個ぶんです。

残りが国語の学習時間ですから、国語の学習時間は、全体を5個に分けたうちの2個ぶんです。

国語の学習時間は、 $90 \div 5 \times 2 = 36$ (分) になります。

実戦演習②

(1) たくや君は、1800円の $\frac{1}{4}$ で本を買いました。

1800円を4個に分けたうちの1個ぶんで本を買ったのですから、本のねだんは、 $1800 \div 4 = 450$ (円) です。

(2) たくや君は、1800円を持って買い物に出かけました。

(1)で求めた通り、買った本のねだんは450円です。

本を買った残りのお金は、 $1800 - 450 = 1350$ (円) です。

その後、1350円の $\frac{5}{6}$ でボールを3個買いました。

$$1350 \text{ 円の } \frac{5}{6} = (1350 \div 6 \times 5) \text{ 円} = 1125 \text{ 円}$$

よって、たくや君は1125円で、ボールを3個買ったことになります。

ボール1個のねだんは、 $1125 \div 3 = 375$ (円) です。

実戦演習③

(1) ゆう子さんは、 $2\text{ kg} = 2000\text{ g}$ のさとうを用意しました。

ゆう子さんは、 $\frac{3}{5}\text{ kg}$ のさとうを使いました。

(持っていたさとうの $\frac{3}{5}$ を使ったわけではないことに注意しましょう。)

$$\frac{3}{5}\text{ kg} = 1\text{ kg} \text{ の } \frac{3}{5} = 1000\text{ g} \text{ の } \frac{3}{5} = (1000 \div 5 \times 3)\text{ g} = 600\text{ g}$$

よって、ゆう子さんは**600 g**のさとうを使ったことになります。

(2) (1)で求めた通り、ゆう子さんは2000 g用意して、600 gのさとうを使いました。

ゆう子さんの残っているさとうは、 $2000 - 600 = 1400$ (g) です。

あつ子さんは、 $3\text{ kg} = 3000\text{ g}$ のさとうを用意しました。

あつ子さんは、用意したさとうの $\frac{2}{5}$ を使いました。

$(3000 \div 5 \times 2)\text{ g} = 1200\text{ g}$ のさとうを使ったことになります。

あつ子さんは、3000 gのさとうを用意して、1200 gのさとうを使いました。

あつ子さんの残っているさとうは、 $3000 - 1200 = 1800$ (g) です。

ゆう子さんは1400 gのさとうが残っていて、あつ子さんは1800 gのさとうが残っているのですから、**あつ子さん**の方が、 $1800 - 1400 = 400$ (g) 多いことになります。

実戦演習④

(1) 問題にのっている2つの図のうち上の方の図から、

$$ア + \frac{2}{5}g = 1\frac{1}{5}g \text{ がわかります。}$$

$$\text{よってアは、} 1\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = \frac{6}{5} - \frac{2}{5} = \frac{4}{5} \text{ (g) になります。}$$

(2) 問題にのっている2つの図のうち下の方の図から、

$$イイ + 700\text{mg} = ア + 1\frac{2}{5}g \text{ がわかります。}$$

ところでアは、(1)で求めた通り $\frac{4}{5}g$ です。

$$\text{よってア} + 1\frac{2}{5}g \text{ は、} \frac{4}{5}g + 1\frac{2}{5}g = 1\frac{6}{5}g = 2\frac{1}{5}g \text{ になります。}$$

したがって、 $イイ + 700\text{mg} = 2\frac{1}{5}g$ であることがわかりました。

ところで、 $1g = 1000\text{mg}$ ですから、

$$\frac{1}{5}g = 1g \text{ の } \frac{1}{5} = 1000\text{mg} \text{ の } \frac{1}{5} = (1000 \div 5)\text{mg} = 200\text{mg} \text{ です。}$$

$$\text{よって、} 2\frac{1}{5}g = 2g \text{ と } \frac{1}{5}g = 2000\text{mg} \text{ と } 200\text{mg} = 2200\text{mg} \text{ です。}$$

したがって、 $イイ + 700\text{mg} = 2200\text{mg}$ となります。

$$\text{イイは、} 2200 - 700 = 1500 \text{ (mg) ですから、イは、} \\ 1500 \div 2 = 750 \text{ (mg) になります。}$$